

研究機関：広島大学

研究課題名	網膜硝子体手術の治療成績の検討
研究責任者名	広島大学病院眼科 医科診療医 湯浅 勇生
研究期間	2020年9月23日(承認日) ~ 2026年12月31日
対象者	2015年1月から2025年12月の間に、広島大学病院眼科で網膜硝子体手術を受けられた患者さん。
意義・目的	糖尿病、眼内炎、硝子体出血、裂孔原性網膜剥離などの網膜硝子体疾患についてデータ収集、解析を行い、手術成績や危険因子を明らかにし、今後の治療方針の発展に生かすためこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は視力、眼圧、年齢、性別、眼側、自覚症状から手術までの日数、内眼手術歴回数、黄斑剥離、術前増殖硝子体網膜症、裂孔の数、巨大裂孔、網膜変性巣、剥離範囲、術前水晶体、眼軸、術前VH、術式、タンポナーデ物質、輪状締結、排液穴、内視鏡、手術時間、パーフルオロカーボン、医原性裂孔、クライオ使用の有無、術後合併症です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 眼科 湯浅 勇生
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5247 広島大学病院 眼科 湯浅 勇生